



3月13日(金) 11時半～14時



COREM COFFEE 本格エスプレッソマシンで淹れた挽きたての香り高いコーヒー。
PANYA Artisan BAKERY ハードパンやデニッシュ、クロワッサンを販売します！

4月24日(金) 11時半～14時



COREM COFFEE 本格エスプレッソマシンで淹れた挽きたての香り高いコーヒー。
MAUNA LANI マラサダーナッツと SPAM むすびの販売をします。ハワイアンなキッチンカー。

開催所 掛川東病院正面玄関前
地域の方もお越しください！

ごっだんとは？ 「仕事に楽しみを」毎月、職員や近隣事業所向けに開催されているイベント。美味しい飲み物や食べ物を囲み、気軽に話すことができるきっかけ作りを目的としています。

暮らしを支える1分体操

～腰を守るお尻のストレッチ～

「長く立っていると腰が痛い」「立ち上がりが大変」腰痛の背景には、お尻の筋肉(大殿筋)の硬さが関係していることがあります。そこで今回は、腰への負担軽減にも役立つ簡単1分体操をご紹介します！



椅子に座り、右の足首を左脚の太ももに乗せます。



右ひざに体重をかけてお尻の筋肉を伸ばします。



背中や腰が丸まらないように注意！

Q. お尻の筋肉を伸ばすとなんで腰痛予防になるの？

A. 股関節がスムーズに動き、骨盤の位置が正しくなることで腰への負担が軽減されます。



お問い合わせはお気軽にどうぞ！

地域を支える仲間募集

掛川東病院では医療介護を通じて地域の皆様が安心して暮らせる環境を一緒に作る仲間を募集しています！



まずは見学でもOK
お気軽にお問い合わせください
☎ 0537-23-7111(市野)

Instagram

当院の取り組みやイベントを随時更新中。医療現場の日常をお届けしています。



回復期リハビリテーション病棟 診療実績 (令和8年1月)

新規入院患者に対する重症度割合 57.1%

重症患者でFIM16点以上改善している割合 65.8%

在宅復帰率 88.5%

アウトカム評価(実績指数) 48.5

患者1人あたりの提供単位 5.2

患者構成 脳血管疾患 36%

運動器 49.5%

廃用症候群 14.5%



医療法人社団 綾和会

掛川東病院

〒436-0030 静岡県掛川市杉谷南1丁目1-1

☎ 0537-23-7111

FAX 0537-23-7116



そうせい

3

2026

No.33

医療法人社団 綾和会 掛川東病院 桔梗の丘 広報誌



contents

特集

- FOCUS 介護看護の現場から、よりよいケアを考える インカム導入で生まれた安心とチームワーク
- 「東病院のひとこま」で2か月間の出来事を振り返り



介護看護の現場から、よりよいケアを考える 日々の実践を共有し、病院全体の力へ

掛川東病院では、介護・看護の現場での実践を共有する発表会を開催しました。日々の業務で生じる課題に対し、職員が工夫と検証を重ねた取り組みを報告し、業務効率とケアの質を両立させる姿勢について、部署や職種を越えた学びと意見交換が行われました。

介護現場から

利用者増加に伴う業務負担への対応や、機器導入時の課題共有をテーマにした実践が紹介されました。

取り組みのポイント

- 業務量の見える化による人員配置の最適化
- 機器導入時の情報共有と教育体制の整備
- 共通認識づくりによるチーム連携の強化

これにより、現場全体の動きが整理され、患者様へのケアの質向上につながっています。

まとめ

本発表会は成果共有にとどまらず、職員同士が互いの実践を認め合い、新たな課題に気づく機会となりました。他部署の取り組みを生かそうとする動きも広がっています。今後も対話と学びを重ねながら、患者様中心のケアを病院全体で実現してまいります。



インカム導入で生まれた安心とチームワーク 介護看護の現場を支える、新しい情報共有のかたち

当院では、業務効率化と医療安全の向上を目的に、スタッフ間の通信機器「インカム」を導入しました。これにより、現場には「スピード」だけでなく「安心」という大きな変化が生まれています。

どこにいても「すぐつながる」安心感

これまでナースコールが重なると、「誰か対応しているかな」「自分が行かなければ」という焦りがスタッフ間にありました。また、相手が忙しそうに見えると「今は声をかけるのを控えよう」と判断し、結果として一人で抱え込んでしまう場面もありました。しかしインカム導入後は、「私に対応します」という声が耳元ですぐに共有されるため、スタッフの心理的負担が大きく減りました。1対1ではなく、1対大勢での情報共有が可能になり、協力できる人が自然に手を挙げる体制が整っています。お互いの動きが見えることで、「今、手が空いている人が手伝う」という連携が生まれ、チームワークの向上にもつながっています。

患者様にとって「静かで落ち着ける」環境へ

もう一つの大きな変化は、病棟の「音」です。これまではスタッフを探すために廊下で声をかけたり、PHSの音が鳴り響いたりすることがありました。インカム導入後は、離れた場所においても小声で会話ができるため、大声を出す必要がなくなりました。迅速な対応はもちろん、患者様にとって今まで以上に「静かで落ち着いた療養環境」を守ることにつながっています。今後は、運用方法の工夫や教育を通じてスタッフ同士の連携をさらに深め、患者様とご家族に安心していただける医療環境を目指してまいります。



看護現場から

退院支援に向け、患者様の意思を丁寧に確認し、多職種へ共有する取り組みが発表されました。

取り組みのポイント

- 退院前の意向確認を重視した準備
- 傾聴を通じた本人中心の意思共有
- 多職種連携による支援体制の充実

希望のすべてを実現できない場合でも、患者様の想いを踏まえた支援につながっています。



インカム導入で生まれた安心とチームワーク 介護看護の現場を支える、新しい情報共有のかたち

当院では、業務効率化と医療安全の向上を目的に、スタッフ間の通信機器「インカム」を導入しました。これにより、現場には「スピード」だけでなく「安心」という大きな変化が生まれています。

どこにいても「すぐつながる」安心感

これまでナースコールが重なると、「誰か対応しているかな」「自分が行かなければ」という焦りがスタッフ間にありました。また、相手が忙しそうに見えると「今は声をかけるのを控えよう」と判断し、結果として一人で抱え込んでしまう場面もありました。しかしインカム導入後は、「私に対応します」という声が耳元ですぐに共有されるため、スタッフの心理的負担が大きく減りました。1対1ではなく、1対大勢での情報共有が可能になり、協力できる人が自然に手を挙げる体制が整っています。お互いの動きが見えることで、「今、手が空いている人が手伝う」という連携が生まれ、チームワークの向上にもつながっています。

患者様にとって「静かで落ち着ける」環境へ

もう一つの大きな変化は、病棟の「音」です。これまではスタッフを探すために廊下で声をかけたり、PHSの音が鳴り響いたりすることがありました。インカム導入後は、離れた場所においても小声で会話ができるため、大声を出す必要がなくなりました。迅速な対応はもちろん、患者様にとって今まで以上に「静かで落ち着いた療養環境」を守ることにつながっています。今後は、運用方法の工夫や教育を通じてスタッフ同士の連携をさらに深め、患者様とご家族に安心していただける医療環境を目指してまいります。



ボランティア

のぞみ保育園の園児たちから、通所リハビリテーションの利用者様へ、心のこもった年賀状が届きました。また病棟では、オカリナや三味線・尺八、ピアノ演奏など、音楽を通じた交流の時間も♪手拍子や口ずさむ歌声が広がり、あたたかなひとときとなりました。



現場力講演会

講師をお招きし、「現場力」をテーマに講演会を開催しました。日々の仕事をあらためて見つめ直し、気づきを行動につなげていく大切さを学ぶ時間となりました。参加者一人ひとりが、明日からの実践への思いを新たにしました。



茶のみや cafe 開催

掛川市主催の認知症についての交流会「茶のみやcafe」を当院で開催しました。看護師による講話のほか、参加者同士での相談や語り合いを通して、地域のつながりを感じられる、穏やかな時間となりました。



東病院のひとこま



病棟新年会

各病棟で新年会を開催しました。職員が獅子舞に扮して登場し、本格的なおみくじ引きで新年をお祝い。新年の抱負を語り合う病棟もあり、笑顔と会話に包まれながら、和やかに2026年のスタートを切りました。

